

# 南多摩保健医療圏の歯科保健状況 1

	保育所・幼稚園						小学校						中学校			
	出生前	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児(小1)	7歳児	8歳児	9歳児(小4)	10歳児	11歳児	12歳児(中1)	13歳児	14歳児
<b>歯と口の発育過程</b> <small>(発育は個人差があり、これはあくまで目安です)</small>	胎生7週歯胚の形成 乳歯歯冠形成 → 胎生14週 第1大臼歯歯胚形成 乳歯歯根の完成 → 第1大臼歯歯冠形成 →						乳歯が生え始める 乳歯が20本生えそろう 永久歯が生え始める 乳歯から永久歯への生えかわり 第1大臼歯が生える・前歯の生えかわり 側方歯群(横の歯)の生えかわり						第2大臼歯が生える 永久歯が28本生えそろう			
<b>歯科疾患の現状</b> <small>(平成16年度)</small>		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児(小1)	7歳児	8歳児	9歳児(小4)	10歳児	11歳児	12歳児(中1)	13歳児	14歳児
			むし歯のある児の割合 (1歳6か月児歯科健康診査結果) 2.8%		むし歯のある児の割合 (3歳児歯科健康診査結果) 23.8%			永久歯むし歯のある児童の率 5.6%	永久歯むし歯のある児童の率 14.1%	永久歯むし歯のある児童の率 25.1%	永久歯むし歯のある児童の率 32.8%	永久歯むし歯のある児童の率 38.6%	永久歯むし歯のある児童の率 43.4%	永久歯むし歯のある生徒の率 56.7%	永久歯むし歯のある生徒の率 59.1%	永久歯むし歯のある生徒の率 68.2%
					一人平均のむし歯の数 0.9本									一人平均のむし歯の数 1.73本		
	保育所健診結果より	むし歯のある児の割合 0.1%	4.2%	14.6%	29.3%	41.8%	53.2%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 5.0%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 10.9%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 14.3%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 16.2%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 18.4%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 19.5%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 20.6%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 23.3%	歯周疾患・歯周疾患要観察者(G・GO)の率 23.8%
	幼稚園健診結果より	—	—	—	20.2%	33.6%	44.4%									
	保育所・幼稚園健診結果合計より	—	—	—	24.7%	37.2%	48.4%									

★東京都における西暦2010年の歯科保健目標

## 歯科疾患のある者の割合（南多摩保健医療圏平成16年度）



